

## 第4回井上靖記念文化賞の受賞者について

第4回井上靖記念文化賞選考委員会を2月15日（土）に東京都内において開催し、次のとおり受賞者が決定いたしました。

## 1 井上靖記念文化賞について

文学，美術，音楽及び歴史等の文化活動において優れた作品や活動実績を有し，また，その活動を通じて継続的に地域や社会への貢献を行っている個人又は団体に対し，更なる文化の発展に寄与することを目的としています。

## 2 受賞者（※主な経歴は別紙）

## (1) 井上靖記念文化賞（記念品及び賞金100万円）

（受賞者名）	（職業）	（受賞の理由）
みやもと てる <b>宮本 輝</b> ・昭和22年3月6日生（72歳） ・兵庫県伊丹市 在住	作家	『泥の河』以来、戦後の市井の人々の姿と情感を描き尽くした希代の物語作家

## (2) 井上靖記念文化賞 特別賞（記念品及び賞金50万円）

（受賞者名）	（職業）	（受賞の理由）
おかの ひろ ひこ <b>岡野 弘彦</b> ・大正13年7月7日生（95歳） ・東京都世田谷区 在住	歌人 國學院大學名誉教授	我々の夢も思想も“神話”から発している。今も昔も“神話”に近づくには「歌」しかない。その「歌」の傑出した創造者としての業績に対して

## 3 選考委員（5名）

川村 湊（文芸評論家・法政大学名誉教授），栗原 小巻（女優・日本中国文化交流協会副会長），酒井 忠康（美術評論家・世田谷美術館長），島倉 朝雄（北海道新聞社編集局文化部長），辻原 登（作家・県立神奈川近代文学館長）

## 4 贈呈式

- (1) 日 時 令和2年5月30日（土） 午後（※開始時間は調整中）  
 (2) 会 場 アートホテル旭川  
 (3) 内 容 賞の贈呈，受賞者の言葉等

## 5 主催

一般財団法人井上靖記念文化財団  
 井上靖記念事業実行委員会

## 6 （参考）これまでの受賞者

- 第1回（28年度）：菅野昭正（世田谷文学館長），小田豊氏（六花亭製菓(株)元代表取締役社長）※本賞2名  
 第2回（29年度）：芳賀徹（国際日本文化研究センター名誉教授），特別賞：織田憲嗣（東海大学名誉教授）  
 第3回（30年度）：大城立裕（作家），特別賞：伊藤一彦（歌人・若山牧水記念文学館長）

（問合せ先）井上靖記念事業実行委員会事務局

旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課 担当：佐藤・諸戸（0166-25-7558）

【受賞者の業績等】

井上靖記念文化賞 宮本 輝 氏

1 略歴・活動内容

- ・1947年（昭和22年）兵庫県神戸市生まれ。
- ・1970年（昭和45年）追手門学院大学文学部卒業。サンケイ広告社に入社。コピーライターとして企画制作部に配属。1975年（昭和50年）サンケイ広告社を退社。
- ・1977年（昭和52年）『泥の河』で太宰治賞，1978年（昭和53年）『螢川』で芥川龍之介賞を受賞。以降，多くの小説作品を執筆。  
『泥の河』は，1981年（昭和56年）に小栗康平監督により映画化され，モスクワ国際映画祭銀賞を受賞。
- ・1981年（昭和56年）『流転の海』の連載開始。
- ・2018年（平成28年）37年の時を経て『流転の海』シリーズ全9巻を完成させた。

2 主な著書など

- ・『泥の河』，『螢川』，『星々の悲しみ』，『道頓堀川』，『錦繡』，『青が散る』，『流転の海』，『葡萄と郷愁』，『優駿』，『約束の冬』，『にぎやかな天地』，『骸骨ビルの庭』，『水のかたち』，『田園発 港行き自転車』，『野の春（流転の海 第九部）』ほか多数。

3 主な受賞歴

- ・1977年（昭和52年） 『泥の河』で第13回太宰治賞
- ・1978年（昭和53年） 『螢川』で第78回芥川龍之介賞
- ・1987年（昭和62年） 『優駿』で第21回吉川英治文学賞
- ・2004年（平成16年） 『約束の冬』で第54回芸術選奨文部科学大臣賞文学部門
- ・2009年（平成21年） 『骸骨ビルの庭』で第13回司馬遼太郎賞
- ・2010年（平成22年） 紫綬褒章
- ・2019年（平成31年） 第60回毎日芸術賞

## 【受賞者の業績等】

井上靖記念文化賞特別賞 岡野 弘彦 氏

## 1 略歴・活動内容

- ・1924年（大正13年）三重県生まれ。國學院大學国文科卒業。
- ・学生時代から釈迢空（折口信夫）主宰の短歌結社「鳥船」に参加。  
私淑して折口家に同居し、歌人として創作活動を始める。
- ・母校の國學院大學で教壇に立つかわら、1968年（昭和43年）に第1歌集の『冬の家族』で現代歌人協会賞を受賞。
- ・1973年（昭和48年）第2歌集の『滄浪歌』で師の名を冠した迢空賞を受賞。
- ・和歌を通じた皇室との関わりが深く、1979年（昭和54年）から2008年（平成20年）まで歌会始の選者を務め、1983年（昭和58年）から2007年（平成19年）まで宮内庁御用掛として天皇や皇族方の歌の指導・相談役も務めている。

## 2 主な著書など

- ・『冬の家族』、『滄浪歌』、『海のまほろば』、『天の鶴群』、『折口信夫伝 その思想と学問』、『バグダッド燃ゆ』、『美しく愛しき日本』、『岡野弘彦百首』ほか多数。

## 3 主な受賞歴

- ・1968年（昭和43年）『冬の家族』で第11回現代歌人協会賞
- ・1973年（昭和48年）『滄浪歌』で第7回迢空賞
- ・1979年（昭和54年）『海のまほろば』で第29回芸術選奨文部科学大臣賞
- ・1988年（昭和63年）『天の鶴群』で第39回読売文学賞，紫綬褒章
- ・1998年（平成10年）日本藝術院賞，勲三等瑞宝章
- ・2001年（平成13年）『折口信夫伝 その思想と学問』で第14回和辻哲郎文化賞
- ・2007年（平成18年）『バグダッド燃ゆ』で第22回詩歌文学館賞及び第29回現代短歌大賞
- ・2013年（平成25年）『美しく愛しき日本』で第4回日本歌人クラブ大賞，文化功労者